

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2023年7月31日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-2
氏名	富国生命保険相互会社
(代表者名)	代表取締役社長 米山 好映
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項の規定により、環境保全行動
第23条第3項の規定により、自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報告期間	2022年4月1日～2023年3月31日								
事業の規模	従業員数	227	人	原油換算した	1439.9	kl			
	使用床面積	36241.3	m ²	燃料・熱・電気の合計量					
	事業所数	7	事業所	自動車使用台数	1	台			
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	3180	t-CO ₂	メタン	t-CO ₂	N ₂ O	t-CO ₂	HFC
非エネルギー起源CO ₂			t-CO ₂	PFC	t-CO ₂	SF ₆	t-CO ₂	NF ₃	t-CO ₂
報告書の担当部署	担当部署名								
	担当者氏名								
	電話/FAX								
	電子メールアドレス								
計画書提出根拠	条例第13条(環境保全行動計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項							
	条例第23条(自動車使用管理計画)	<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第2項							
計画期間	2021年4月1日～2024年3月31日								
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書	別添のとおり								
備考									

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 のある欄には、該当する内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2021年 4月 1日～ 2024年 3月 31日

【報告期間】

2022年 4月 1日～ 2023年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2021年度結果			2022年度結果			2023年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
事業活動における二酸化炭素排出量の削減	3200 t	3 %	3160 t	1 %	△	3180 t	1 %	△			
自動車使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	1.21 t	3 %	1.54 t	▲ 27 %	×	1.57 t	▲ 30 %	×			
法令の遵守											
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
事業活動における二酸化炭素排出量の削減	△	コロナ感染対策に係る行動制限の緩和に伴い、オフィス使用が増えたため、未達成・前年度超過となった。
自動車使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	×	コロナ感染対策に係る行動制限の緩和に伴い、営業活動が活発化し、自動車使用が増えたため、未達成・前年度超過となった。公共交通機関の利用を促し、排出量削減に努める。
法令の遵守		